

令和4年12月20日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後2時00分
閉会 午後3時28分

2 出席委員

神 先 宏 彰 教育長
北 村 真 也 教育長職務代理者
末 永 礼 子 委 員
出 藏 裕 子 委 員
福 嶋 百合子 委 員
秋 山 伸 夫 委 員

3 欠席委員

陀 安 一 郎 委 員

4 出席事務局職員

片 山 久仁彦 教育部長兼文化資料館長事務取扱
久 保 日出樹 次長兼総括指導主事
岡 田 康 宏 教育総務課長
内 藤 一 彦 学校教育課長
樋 口 竜 次 社会教育課長
山 崎 浩 久 社会教育課人権教育担当課長
岩 崎 盛 雄 歴史文化財課長
桂 和 裕 学校給食センター所長
谷 仁 志 図書館長
谷 口 正 二 みらい教育リサーチセンター所長
阿比留 綾 教育総務課副課長兼総務係長事務取扱

5 傍聴者

なし

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

令和4年11月15日に開催した定例会の会議録を承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・市立学校を随時訪問し、各校児童生徒の様子を含めた状況を視察した。
- ・京都亀岡ハーフマラソン大会実行委員会第2回総会に出席し、開催要項等について協議した。
- ・今年度第2回目の教育委員学校訪問として、城西小学校、市立幼稚園、詳徳小学校、詳徳小学校放課後児童会を視察した。
- ・サイエンスフェスタ2022をガレリアかめおかで開催した。
- ・令和4年度第3回「光秀公のまち亀岡俳句大賞」審査委員会に出席し、大賞「明智光秀賞」等の受賞作品を決定した。
- ・部落解放同盟京都府連合会・亀岡市協議会と亀岡市との懇談会に出席し、人権問題の課題解決に向け懇談した。
- ・亀岡市立大井小学校創立150周年記念式典に出席し祝辞を述べた。
- ・宝くじスポーツフェア「ドリームサッカー」少年少女サッカー教室が開催され出席した。
- ・元教育長の竹岡敏先生瑞宝双光章受章祝賀会に出席しあいさつした。
- ・市議会定例会12月議会が再開され、教育部には10人の議員から41の一般質問がなされ答弁した。また、提案していた条例改正案、補正予算案他全議案が可決され、休会した。
- ・臨時教育委員協議会を開催、教育課題等について協議した。
- ・中学校給食実施に関する懇談会に出席し、要望団体と懇談した。
- ・亀岡市老人クラブ連合会 第40回定期大会・指導者研修大会に出席し、あいさつした。
- ・全国水平社創立100周年記念 部落解放同盟天川支部結成62周年記念式典に出席、講演会やパネルディスカッションが行われた。
- ・令和4年年末の交通事故防止府民運動に係る街頭啓発活動に参加、加塚交差点において交通安全啓発活動を行った。
- ・令和4年度第2回亀岡市総合教育会議において、教育施策の重点事項について市長と協議した。
- ・第40回亀岡市女性集会を開催し、全国水平社創立100周年記念映画「破戒」を上映した。
- ・社会福祉法人青葉学園 江口昌道理事長から、市長に関係者へのマスクの寄附をされ同席した。
- ・第8回京都亀岡ハーフマラソン大会開会式に出席した。
- ・つつじヶ丘小学校の平和学習の成果発表のため、学校内に開設する平和学習資料館への来場について、5年生児童が来庁して招待を受けた。
- ・放課後児童主任支援員等を対象に、令和5年度放課後児童健全育成事業に係る説明会を開催し、制度拡充に係る内容等について説明した。
- ・校園長会議で、教職員の保護者対応についての的確かつ速やかに行うよう指示した。また、児童生徒指導に関してグループ討議を行い、各校の情報共有を図った。
- ・令和4年度歩いて知ろう！！蒔田野町子ども「心の教育」若宮神社めぐ

り及び餅つき大会に出席した。

◎国・府等の関係

- ・令和4年度京都府教育委員会表彰式に出席した。
- ・令和4年度京都府小学校教育研究会外国語教育研究大会に出席。千代川小学校で取組んでいる外国語教育について実践発表がされた。
- ・第18回京都丹波キッズふれあい駅伝開会式に出席した。

(4) 議 事

議案番号	件 名
第13号議案	かめおか児童クラブ事業の実施に関する条例施行規則の制定について

○第13号議案について社会教育課長が議案説明を行った。

議案説明の前に、令和4年10月19日から11月10日の間に、各小学校及び義務教育学校に在籍している1年生から5年生までの児童保護者や、市立保育所・幼稚園の令和5年度就学予定の園児保護者を対象に実施したアンケート調査の集計結果、並びに結果分析に基づき検討した土・日・祝日の開設箇所等について説明した。

アンケート調査については、配布総数3,873名のうち889名から回答があり、回答率は22.9%であった。

その内、平日に新たに入会を希望する児童は109名、土曜日の利用を希望する児童は207名、日曜日の利用児童は97名、祝日の利用児童は100名という結果であった。

以上の結果から推計すると、令和5年度の平日入会児童は1,365名、土曜日利用の児童は317名、日曜日利用の児童は149名、祝日利用の児童は153名となるが、実際の出席はその8割程度の人数を見込んでいる。

また、結果分析に基づき、土・日・祝日の開設箇所について検討した結果、安詳小学校、大井小学校、城西小学校の3校において開設することとし、以後は児童の受入れ体制を整えつつ、実際の入会申込み状況により、増設等について検討していく。

次に、課題となっている放課後児童支援員等の処遇改善のため、現在考えている案について、放課後児童主任支援員及び支援員は、月額報酬に係る適用号給及び勤務時間の見直すことで、一定の処遇改善を図ること、また、放課後児童支援補助員に関しても、週5日及び週4日勤務者については月額報酬を適用するとともに、放課後児童支援員認定資格取得者については上位の号給を適用することを検討していく。

以上を踏まえ、第13号議案について説明した。

第13号議案は、放課後児童健全育成事業の運営に関し、令和5年度から制度拡充を図るため、令和4年12月議会に提案していた「かめおか児童ク

ラブ事業の実施に関する条例」が令和4年12月19日に市議会で可決され、12月20日に公布されたことに伴い、その条例施行に関して必要な事項を定める「かめおか児童クラブ事業の実施に関する条例施行規則」を制定しようとするものである。施行日は令和5年4月1日である。

○説明を受け、委員から次の意見があった。

- 秋山委員 休日等に開設するかめおか児童クラブについて、以前は5箇所を検討しているとの説明を受けたが、最終的に3箇所となった経緯について説明をいただきたい。
- 社会教育課長 アンケート調査結果の入会予定者数から、当初5箇所での開設が望ましいと考え検討を進めてきた。しかし、人材確保に課題もあり、総合教育会議でも児童の受入れ体制を十分に整えたうえで開設を進めるべきであるとの議論があったことも踏まえ、まずは3箇所で開催し、以後は実際の入会申し込み状況を見ながら増設等について検討していくこととしたい。
- 末永委員 人材確保が課題であるということは認識しているが、3箇所であれば人材確保の見通しが立つという理解が良いか。
- 社会教育課長 現在勤めている職員の次年度の任用希望については、今後意向を聞くことになるが、3箇所であれば既存職員が交代で勤務することで開設が可能と考えている。
- 末永委員 入会児童保護者にとって開設箇所は多い方が望ましいと考えるが、しっかりと体制を整えて開設していかなければ、児童の支援において支障が出ることも考えられるので、体制を整えつつ開設を進めていくということで、3箇所から開始することは理解できる。
- 出藏委員 休日等は3箇所に集約して開設するというのであれば、開設するかめおか児童クラブ以外からの利用者の送迎車両が増加することが考えられる。安詳小学校においては、周辺での交通事故防止の観点から自動車での保護者送迎は、可能限り控えるよう求められている。事故なく安全に運営していくためには、近隣住民等の理解も必要になると考えられるため、地元自治会とも十分に連携をいただきたい。
- 社会教育課長 地元自治会等とも連携のうえ安全確保を図っていく。
北村職務代理者 総合教育会議においても人材確保の課題が一番の論点であった。人材確保の目途が立たない状況の中、5箇所で開催するということは無理がある。

また、開設後には想定していなかった新たな課題が生じてくることも考えられるので、体制を整えながら開設を進めていくということは理解できる。

また、保護者負担金についても大きく制度が変更され、複雑になることで、その事務が煩雑となることが懸念されるが、確実に事務を進めていくための事務局の考えを聞かせていただきたい。

社会教育課長

今回の制度変更により事務が複雑になることは事実である。

今後、効率的に事務を進めていくため、現在使用している管理システムの改修を図るなど、着実に事務を進めていく体制づくりにも努めていきたいと考えている。

福 嶋 委 員

休日等にかめおか児童クラブに入会する児童には、普段とは違う支援も必要になると考えられるので、十分な体制が整った形で開設することが重要であり、3箇所から開始するという事は理解する。

また、職員の処遇改善について、休日や夜間の対応のため改善されるのではなく、職全体として処遇改善がされるという理解で良いか。

社会教育課長

処遇改善については、職員の職の適用区分を見直すと共に、今後の人材確保も意識して全体として改善を図る考えである。

福 嶋 委 員

休日等に開設するかめおか児童クラブの支援体制として、事務局も土日祝日などの出勤が必要になると考えられるが、その体制はどのように考えているのか。

社会教育課長

現在は月1回の土曜開設に合わせて、職員1名が出勤し職場待機している。

来年度は、職員の交代制で自宅待機も含めた支援体制づくりについて検討していきたいと考えている。

秋 山 委 員

人材確保の課題もあり、児童の安全性確保のためにも3箇所から徐々に進めていくことは理解する。

一方で、休日等に入会を希望するという保護者の希望は今すぐの需要である。

今後、体制を整えつつ増設について検討していくという説明であるが、その期間は令和5年度中にも検討を進めるのか、数年間という期間を見て検討を進めるのか考えを説明いただきたい。

社会教育課長

実際の入会状況により判断をしていきたいと考えている。開設体制の整備状況にもよるが、増設が必要と判断された場合には、保護者ニーズに応えるためにも、

令和5年度中にも増設する方向で検討をしていきたいと考えている。

第13号議案について、原案どおり承認した。

(5) 報告事項

- ①学校等への寄附について
- ②学校規模適正化について
- ③第40回亀岡市女性集会実施報告について
- ④令和5年亀岡市はたちの会開催概要について
- ⑤「亀岡市文化財保存活用地域計画」の文化庁認定の報告について
- ⑥天然砥石体験会の案内について
- ⑦令和4年度2・3月教職員研修講座のお知らせについて

○各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<第40回亀岡市女性集会実施報告について>

末永委員 自身も参加したが、実際に多数が対面で参加することで、参加者が同時に一体感を持って同じ目的を確認することができる良さがあると感じた。

今回は、全国水平社創立100周年記念映画「破戒」が上映され、その内容も非常に前向きに描かれており、女性集会の原点に立ち返ったように感じ、第40回という節目の年にたいへん意義のある集会であったと感じた。

<令和4年度2・3月教職員研修講座のお知らせについて>

末永委員 2月3日開催予定の幼児教育講座Ⅱは、Zoomを活用したオンライン開催となっているが、教育委員として参加することは可能か。

みらい教育リサーチセンター所長 可能である。後日案内をさせていただきます。

(6) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上